

報道関係各位

2024年6月3日(月)
キューアンドエー株式会社

地域・行政と共同解決に取り組む 『地方共創研修』で新たな活動支援
～ 宮城県×キューアンドエー×宮城伝統工芸の認知向上に向けて ～

ICT テクニカルサポートを展開するキューアンドエー株式会社(代表取締役社長:野村 勇人、本店:宮城県仙台市青葉区、以下 キューアンドエー)は、『地方共創研修』を通じて、自治体との共創を後押しするとともに、地域や自治体が抱える課題に対して、課題解決に向けてのアクションプログラムを2024年6月11日(火)～6月13日(木)に実施いたします。

取り組むアクションは、「宮城県の伝統工芸を広く知ってもらうためにはどうしたらよいか」をテーマとし、キューアンドエーの若手社員(21名予定)による、新しく柔らかな発想とデザイン思考を合わせたアイデアを検討し、課題解決のための提案をいたします。また、アイデア創出のためフィールドワークとして、宮城県の伝統工芸品の工房・販売元などへ訪問し、机上での議論だけではなく、地域と共に理解を醸成させた具体的提案へつなげるための活動もおこないます。



※昨年(2023年2月)に福岡市で実施したプログラムの様子

【実施概要】

- ◆研修名称:『地方共創研修』
- ◆開催主催:キューアンドエー株式会社
- ◆開催日時:2024年6月11日(火)～6月13日(木) ※プレゼンテーション日は取材可能
 - ・プレゼンテーション日(最終日):6月13日(木) 14時～17時30分
 - ・プレゼンテーション開催場所:キューアンドエー株式会社 仙台駅前オペレーションセンター内研修室
(宮城県仙台市宮城野区榴岡 1-2-13 ヨドバシ仙台第2ビル)
- ◆ご参加:宮城県 経済商工観光部 新産業振興課、 宮城県 企画部 産業デジタル推進課
仙台箆笥歴史工芸館、 梟の森小竹孝埋もれ木細工美術館

以上

<キューアンドエー株式会社> <https://www.qac.jp/>

ICT デジタル製品（パソコン、スマートフォン、プリンター、情報家電、通信機器など）に関連して生じる故障などのトラブルや接続、操作や利活用に係る疑問などを解決するテクニカルサポートサービス事業を主たる業務とする。キューアンドエーが提供するサポートサービスは「コンタクトセンターサービス」「DX 関連サービス」「フィールドサポートサービス」で構成し、近年では事業領域を拡げ ICT/DX に関するトータルサポートサービスを提供している。自社サービスとしては「機器補償サービス」や AI チャット Bot 導入と FAQ サイト整備支援サービスを展開。メールや電話・Web 会議ツールを活用した「インサイドセールス」も受託・運営。また、当社の事業サービスをまとめたサイト「DIGINEXT」を運営する。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

キューアンドエー株式会社

東京都渋谷区笹塚 2-1-6 JMF ビル笹塚 01

電話：03-4332-1592 メール：press@qag.jp

お問い合わせフォーム：<https://www.qac.jp/contact/index.html>